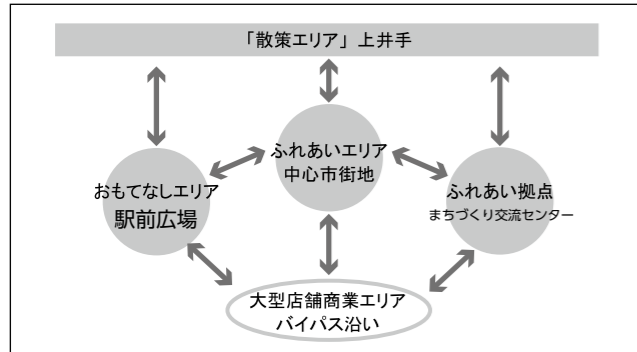


大津町に住む人・訪れる人が安全に安心して
楽しく過ごせるまちづくりを目指して—

大津町まちづくり推進協議会

○問い合わせ 大津町まちづくり推進協議会
事務局：役場商業観光課 ☎(293)3115



平成 19 年に発足した大津町まちづくり推進協議会は、魅力的で快適な住みたいまちづくりを目標に活動しています。昨年の 11 月には、町中心市街地を『おもてなしエリア』・『ふれあいエリア』・『ふれあい拠点』・『散策エリア』に分け、大津町の未来予想図を描いた「大津町のまちづくりについて」という提言を町に提出しました。今回は活動状況の一部をご紹介します。

交流センター分科会・駅前広場分科会

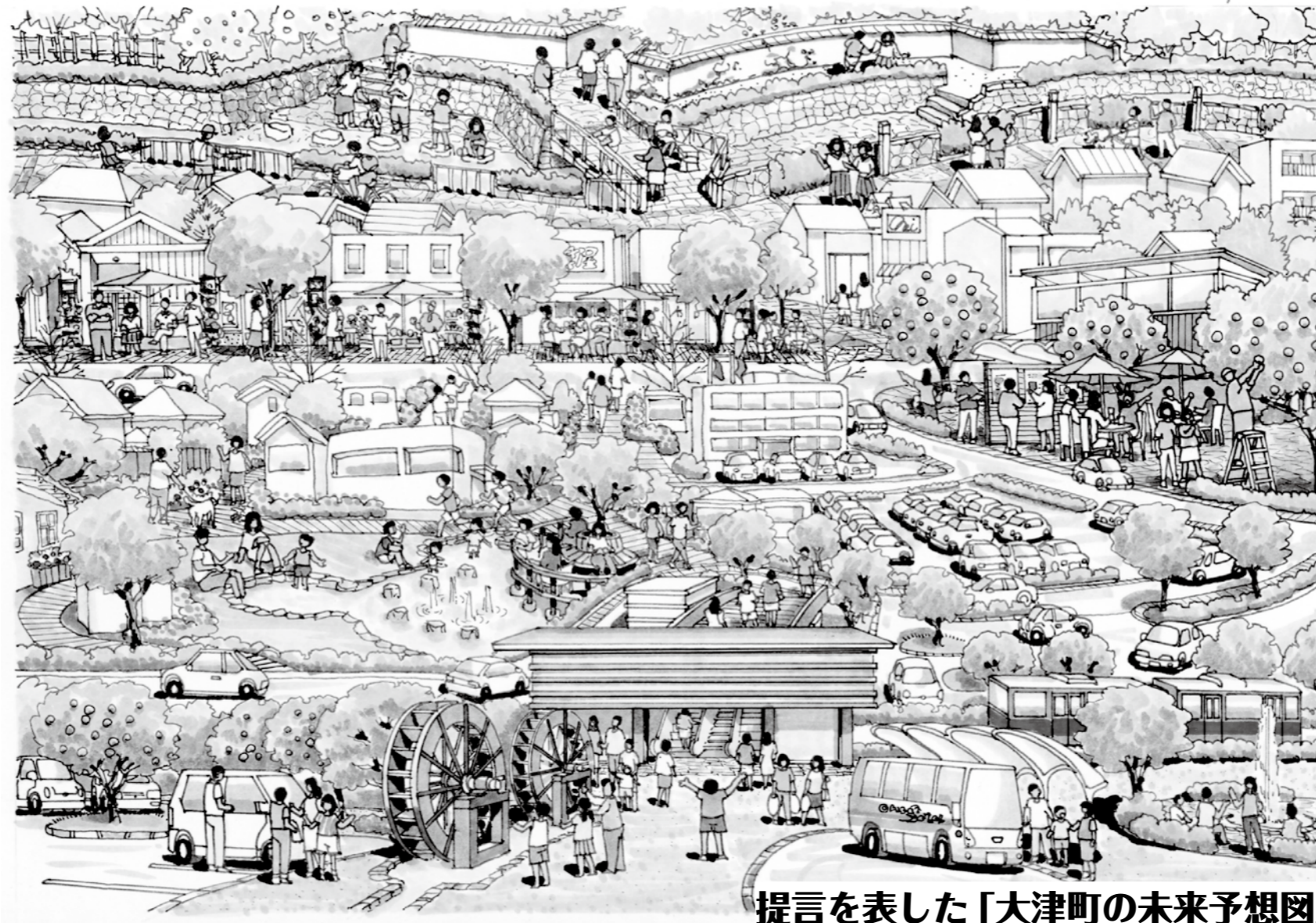
大津町の情報発信と町に住む人や訪れる人との交流の場を

大津町の魅力や特産品を内外に発信するとともに、住民の交流や大津町を訪れる人との交流を推進するために、大津町は、まちづくり交流センター（仮称）の建設を計画しています。わたしたち大津町まちづくり推進協議会は、この施設をより魅力的で気軽に利用できる施設にするために、住民の視点で意見交換を行っています。また大津町の玄関口である肥後大津駅の周辺整備も計画されていますが、協議会では、利用する住民と大津町を訪れる人が利用しやすい駅になるように、町に提言を行いました。

上井手探検学習会

上井手の歴史を学びました

江戸時代に作られた上井手の歴史やその役割について地域の人に学んでもらおうと、町文化財保護委員の村下洋一さんを講師に招き、7月24日に「上井手探検学習会」を開催しました。絶好の夏空の下、町内外の小中学生や保護者 50 人が参加、上井手の出発点である瀬田の取水口や下井手の取水口、大林の内山堰（洪水防止のための「落とし口」）などを見学しました。室の塘町筋では上井手の水を一時的に止めて水路内を探索、子どもたちはアブラメやカニを捕まえて楽しんでいました。また、夏休みの課題として「上井手検定クイズ」が子どもたちに出題され、この答え合わせを8月28日に行いました。子どもたちは高得点を連発、きっと未来の上井手博士になってくれることでしょう。



提言を表した「大津町の未来予想図」

中心市街地意見交換会

中心市街地に新しい照明灯を

建設当時（昭和 50 年）150 本あった中心市街地の鈴蘭灯は、ポールの腐食や灯具の劣化により撤去を余儀なくされ、現在 25 本が残るのみとなっています。

まちづくり推進協議会では、町の顔である中心市街地の照明灯について、7月28日に地域の皆さんと意見交換会を行いました。

皆さんから「防犯の面からも照明灯は必要」、「昼間は景観を向上させるようなデザインを」などの意見が出る中「県道は歩道が無いので安心して歩けない」、「段差が多く高齢者や車椅子の人にはとても危険」、「賑わいが無く通りが寂しい」などの指摘もあり、活発な意見交換会となりました。

今後もこういった意見交換を実施する予定です。皆さんの参加をお待ちしています。

